

全学一斉避難訓練時に研究室に滞在されている教員の皆様へ

2012年11月8日(木)午前10時30分から名古屋大学地震防災訓練を実施します。

今回はその中で午前11時30分から全学一斉避難訓練を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

今回の全学一斉避難訓練はブロック単位でブロック自衛消防隊、建物自衛消防隊に運営していただきますが、事前の取組については各部局が把握しているので担当部局にお尋ねください。

緊急地震速報が放送されたら研究室にいる学生、院生、教員の方すべてで安全行動の1-2-3を実施していただくようお願いいたします。さらに想定地震が収まったところで一次避難場所まで避難するようお願いいたします。

なお、避難する際、研究室にカギをかける、または保安要員を残す等防犯にも気を配って訓練を実施するようお願いいたします。

名古屋大学災害対策室

○避難訓練の要領

11月8日以前に

1. 地震時の安全行動と一次避難場所の確認

- ・大地震が発生した場合、研究室に滞在するものがどのような安全行動をとったらよいかを事前に話し合う。(実験室、高い本棚のある部屋などは廊下で安全行動をとる。比較的安全と思われる部屋は室内で安全行動をとる。)
- ・避難訓練時の一次避難場所を部局に問い合わせる。
- ・研究室内の学生、院生、教員にチラシ等を使って、防災訓練の内容を周知する。

11月8日の朝

2. 防災訓練の実施を再確認

- ・訓練緊急地震速報が流れること、そのあと訓練地震の放送にもとづいて一斉避難訓練を行うことを説明する。
- ・チラシにもとづいて安全行動の1-2-3について再度説明する。
- ・一斉避難訓練は研究室がまとまって避難することを伝える。
- ・避難の一次避難場所について説明する。
- ・一次避難場所に集合後は、ブロック自衛消防隊、建物自衛消防隊の指示に従い行動することを説明する。
- ・全学一斉避難訓練後、12:00 から安否確認入力システムに全員が入力するように説明する。

11:35

3. 緊急地震速報の放送

- ・放送時に普通の授業の場合は、各自で安全行動の1-2-3を実行するように指示します。実験室など危険性が高いと思われる場所にいる場合は、廊下で安全行動をとる

ように指示する。また、体育館など広い場所にいる場合も廊下に出る又は壁際によるなどした後安全行動を実施するよう指示し、教員自らも率先して安全行動を実施するようお願いします。

- ・場所により、聞こえにくい場合もあるかもしれませんが、放送が聞こえない場合も時間が来たら聞こえたものとして進めるようしてください。

11:35

4. 地震発生の放送

- ・緊急地震速報が放送されてから10秒後に地震をイメージした音が流れ、地震が発生した旨の放送が流れます。地震の音は2分間継続する予定です。
- ・地震の音の放送が継続される間、放送が聞こえない場合は安全行動を開始してから2分間は安全行動を続けます。
- ・安全行動の終了後、安全に避難の開始するよう指示してください。
- ・「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」の**お・は・し・も**を守って安全に避難するよう呼びかけてください。
- ・教員は学生、院生とともに行動し、全員が安全に避難するよう行動してください。

11:45

5. 避難後の対応

- ・一次避難場所に研究室の講師員全員が避難したことを確認し、その後は自衛消防隊の指示に従ってください。
- ・避難訓練が終了したことを確認して、避難報告書を作成し建物自衛消防隊に手渡す。

12:00

6. 安否確認システム入力

- ・学生、院生の方に安否確認システム入力を指示するとともに、教員の方も安否確認システムの入力をする。

(これで訓練終了です。)

※防災訓練についての質問は、部局または災害対策室にお問い合わせください。

【災害対策室 川端 東山内線6040】

1. 部局と研究室名

2. 報告者の職名と氏名

3. 安全行動訓練の実施の有無

4. 避難訓練の実施の有無

4. 訓練に参加した人数

5. 今回の訓練についての感想意見(自由にご記入ください。)

※建物自衛消防隊又は部局事務に提出してください。